

# 令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢2 地域資源を活かした「産業のしま」	
政策4 次世代のしまの可能性を広げる産業と雇用づくり	本文P82～84

基本方針	第一次産業をはじめとする地場産業を活性化させ、雇用の拡大・定住促進を図るとともに、資源及び経済の循環型社会を形成し、持続可能な「しま」を目指します。
------	--

2-4-① 新産業の創出・育成	担当課	みらい戦略課・観光商工課
-----------------	-----	--------------

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>観○国の交付金を活用した雇用機会拡充事業の実施により、創業や事業拡大を行う事業者を支援し、新産業創出のため支援した。</p> <p>観○新上五島町商工会の地域支援センターに業務委託をおこない、創業希望者や町内事業者の事業拡大に対する相談受付、また、各種セミナーや講習会等の開催により、新産業創出への取組を支援した。</p> <p>み○企業誘致雇用創出に向けて、経験を有する事業者者にプロポーザル形式で委託し本町の誘致戦略書及び商談会向けプレゼン資料を制作した。</p> <p>み○ドローン産業創設に向けて実施した絆特区関係事業に際し、実証フィールドの提供と地元関係者との調整について、そらいいな㈱と連携し継続して実施した。</p>
SDGsとの関係性	 <p>【選定理由】 雇用機会を拡充し、また雇用環境を整備することが、持続可能な地域経済を成長させるために重要であるため。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>観○雇用機会拡充事業により、申請事業者の雇用者数増加と事業拡大を支援することができた。しかし、全国的に働き手が不足している状況にあり、町内においても労働力の確保が難しい状況にある。</p> <p>み○誘致戦略書及びプレゼン資料を活用し、企業誘致の取組を進めて行くが、マッチする企業との商談が出来るかが課題。</p> <p>み○医薬品配送事業に加え送電線の点検業務事業について実証を図っているが、新規産業として実装する手法も検討する必要がある。</p>
今後の取組方針	<p>観○引き続き、有人国境離島法など国の制度を活用して、創業や事業拡大を支援していくとともに、新上五島町商工会の地域支援センターとも連携し創業をサポートしていく。</p> <p>み○今後作成した誘致戦略書により本町に必要な企業の誘致と新産業の創出に取り組んで頂ける企業などをオンラインイベント・商談等により求めて行く。</p> <p>み○ドローン事業については、そらいいな㈱の実証実験等への継続した協力をを行いながら本町の抱える社会課題の解決にドローン技術が実装出来ないか引き続き取り組んでいく。</p>

## 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値						達成率
					R2	R3	R4	R5	R6		
	新規雇用者数(累計)		人	144	300 267	460 374	630 495	810 517	1,000 549	54.9%	
1 ★ しごと・横断	《成果指標の進捗状況》				担当課	みらい戦略課				R2	
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	全国的な物価高騰・原料費の高騰などにより島内の雇用状況は消して良くはない状況にある。雇用機会拡充事業など各種事業により島内雇用の拡大に努めているが、目標の達成には至らなかった。また全国的に人員不足の状況があり、町内就業と比較し条件的に好条件となる島外・県外・都市部への就職を選択する方も多く島内においては深刻な働き手不足となっている。										C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										C
従業員確保に苦慮している事業者が多く、外国人就労者の力を借りて事業を継続している事業所などもあり、島内における働き手の不足は喫緊の課題となっている。										R5	
②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										C	
雇用機会拡充事業、輸送コスト支援事業などの支援策を活用しながら島内産業の維持に努め、各業種の売上向上を図る事により従業員の待遇改善につなげる好循環を生み出し地域内雇用の魅力拡大を図る。										R6	
										C	

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○新たにつばき産業振興計画を策定し、除伐や断幹による椿林整備、耕作放棄地等への椿苗の無償配布、ヒノキバヤドリギを主とした有害寄生植物の駆除などに取り組んだ。 また、町内の代表的な椿について、樹木医による樹木診断を実施し、今後の管理等について調査研究をした。</p>	
SDGsとの関係性	 	<p><b>【選定理由】</b> 自然生態系の保護、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営など、土地の劣化阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止するため、関係者との連携を図る。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○つばき有害植物に対しては、これまで被害拡大を食い止めるべく調査と駆除を行ってきたことにより、ある一定の拡大抑制の成果は見受けられたものの、島内全域に被害が拡大しているため、完全な抑制には至っていない状況である。しかし、町有地における椿林整備においては、既存施設の適切な植林・保管理に努めたことにより、更なる生産性の向上が図られた。また、本町の代表的な椿の保護・育成等を図るため樹木診断を実施したことにより、適正な処置等見出すことができた。</p>	
今後の取組方針	<p>○椿の収穫量を増やすため、引き続き、有害植物対策、苗木支給、椿林整備事業等による整備を着実にやっていく。 また、本町の花木である椿を島内外の方に観て楽しんでいただけるよう椿公園の整備も推進していく。</p>	

#### 2-1. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
1 まち・しごと・横断	つばきの植栽による耕作放棄地の解消	単年度1,000㎡	㎡	160	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	83.6%	
					150	1,500	1,700	100	836		
	《成果指標の進捗状況》					担当課		農林課		R2	
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										C
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	耕作放棄地において、管理者以外の第三者がつばきの植栽及び管理、収穫までを行うことができるシステムとして代理収穫制度を設け、広報誌やHPにおける案内を行ったが応募者がいなかった。 耕作放棄地4件836㎡においてのつばきの植栽に止まった。										A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	<u>①課題</u>										A
	今後、少子高齢化や人口減少による植栽の担い手等の確保が課題となってくる。										R5
	<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										C
代理収穫制度の広報の強化や、町有地におけるモデル事業を展開する。										R6	
										B	

### 2-2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
2 まち・しごと・横断	つばき油の売上額	振興公社売上額	万円	3,720	4,000	4,250	4,500	4,750	5,000	93.9%
					4,786	4,768	4,008	7,059	4,693	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	農林課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									
	<p>昨年は大手企業やその他の企業からの一斗缶の注文が多かったため売上額も多かったが、今年度は大手企業等も在庫を抱えていた関係上例年程の売り上げだった。</p>									
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									
	<u>①課題</u>									
	固定された販売顧客に満足することなく、新たな販路拡大を求め、宣伝や営業を行うことが必要である。									
	<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									
原料である椿実の安定的な確保に努め、併せて更なる販路拡大を目指す。										
各年度の評価										
A										
R3										
A										
R4										
B										
R5										
A										
R6										
B										

### 2-3. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
3 まち・しごと・横断	つばき関連商品の売上額	振興公社、椿木工房売上額	万円	850	900	950	1,000	1,050	1,100	98.1%
					627	569	942	1,124	1,079	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	農林課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									
	<p>椿油加工品については順調に売り上げをキープしており、椿木工製品については主に各種イベント等において販売し、その認知度も高まってきている状況である。</p>									
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									
	<u>①課題</u>									
	椿油の原材料である椿実並びに椿木工品の椿木等を安定して確保していく必要がある。									
	<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									
販売については各種イベントへの出店、商談会への出席を積極的に取り組むよう振興公社等へ促し、各種原材料の確保については、関係団体とも連携し安定的な確保に努めていく。										
各年度の評価										
C										
R3										
C										
R4										
B										
R5										
A										
R6										
B										

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>農○農産物の島内自給率を高めるため、栽培講習会や現地巡回指導等を実施しつつ、地域おこし協力隊による町内飲食店への巡回販売を試行し、消費者への消費促進を行った。また、生産組織(2組織)の活動に助成を行い、生産拡大と地域内供給の促進に努めるとともに、地域おこし協力隊による直売所への出品者の勧誘、農産物の集荷を行い、地場産農産物等の供給促進を行った。</p> <p>観○新上五島町観光物産協会の地域商社部門や離島地方創生協会の活動を支援することにより、販路の拡大に取り組んでいる。また、ふるさと納税の返礼品を充実させ、地場産品の知名度および売上向上に取り組んでいる。</p>				
SDGsとの関係性	  	<p><b>【選定理由】</b> 地場産業振興と地産地消を推進し、持続可能な産業の活性化を図る。</p>			
評価(問題点とその要因)	<p>農○農業者の高齢化が一つの要因となり、耕作地の縮小、耕作放棄地の増加や新規就農者の確保も容易でなく担い手が不足しているため、農産物の生産拡大と地域内供給が進んでいない。</p> <p>観○離島振興地方創生協会の支援により、大手企業と複数の町内事業者との取引が成立しており、今後の売上増加や知名度向上も期待している。</p>				
今後の取組方針	<p>農○生産組織への助成及び生産者への栽培講習や現地巡回指導等を継続して行う。また、新規就農者向けの相談会を開催し、担い手を確保するとともに地域おこし協力隊の巡回による農産物の供給が可能な生産者の拡充に努める。</p> <p>観○新上五島町観光物産協会の地域商社部門や離島地方創生協会の活動を引き続き支援し、販路の拡大により地場産業の振興に取り組んでいく。</p>				

### 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	直売所売上額	2施設合計(メルカピィあおかた、番嶽ふれあい市場)	千円	50,000	55,000 42,082	55,000 41,128	55,000 40,893	55,000 38,489	55,000 37,582	68.3%
1 まち・しごと	《成果指標の進捗状況》				担当課	農林課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
	会員の高齢化による耕作地縮小や後継者不足が、農産物・水産物の品揃え不足に繋がっている。一時はイベント(感謝祭)も再開していたが、想定より売り上げが伸びないとして開催を見送っている。									C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									C
	会員の高齢化による農産物の出荷量減少及び水産物の漁獲量減少の解消。集客できるような目玉商品の開発や安定的な品揃えが必要。									R5
②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									C	
農水産物の集荷や新規会員の加入、仕入れを行い品揃えの拡充に努める。また、新商品等の開発、小規模なイベントの実施しにより、幅広い年齢層にも来ていただけるような直売所作りを目指す。									R6	
									C	

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	○新上五島町観光物産協会の地域商社部門において、主としてECサイトによる個人消費者をターゲットとした販売を強化した。また、離島振興地方創生協会の活動を支援し、五島うどんをはじめとする特産品の全国的な販路拡大に取り組み、併せて輸送コスト支援を実施するなど産地力の強化に取り組んだ。	
SDGsとの関係性	 	【選定理由】 特産品の販路拡大により、町内経済の持続的な活性化が図られるため。
評価(問題点とその要因)	○小規模な事業者がほとんどを占める町内において、それぞれの事業者が販売活動を行うには限りがあるため、新上五島町観光物産協会の地域商社部門が中心となって特産品の販売活動を行い、町全体の特産品の知名度や売上の向上など一定の効果があった。また、離島振興地方創生協会および会員企業の活動により、都市部でおこなわれる複数の展示商談会および物産展へ参加することができた。	
今後の取組方針	○引き続き、新上五島町観光物産協会の地域商社部門や離島振興地方創生協会の活動を支援し、特産品の販路拡大に取り組んでいく。また、町内事業者への物産展・商談会出展への支援を引き続き行っていく。	

### 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
	地場産品販売額(年間) ※再掲	新上五島町製造業・業種別売上額	百万円	1,699	1,709 1,623	1,719 1,539	1,729 1,788	1,729 2,026	1,729 1,954	100.0%	
1 ★ し こ と ・ 横 断	《成果指標の進捗状況》				担当課	観光商工課				R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	新上五島町観光物産協会および新上五島町商工会の販路開拓の取組を支援するとともに、島外での物産展参加を促すため旅費等の助成をおこなった。										C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										A
	製造業では高齢化と人材不足が進行しており、技術継承や生産体制の維持が困難になりつつある。										R5
②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										R6	
これまでの取組を継続していくとともに、持続可能な事業運営のため、若手人材の育成やデジタル技術の活用等による生産性向上の取組が必要。										A	

### 2次評価委員会からの評価・意見等

地域内循環型の体制を確立するために、まず第一次産業をはじめとする地場産業の活性化と地産地消が必要です。うどん製造販売など好調に販売額を伸ばしている地場産品もあるが、一方で後継者不足や働き手不足などにより事業の継続を断念する事業所などもあり依然として厳しい状況です。少子化の影響で高校生の数が減少していることにより、島内就職率としては改善傾向にあっても実際の新規就業者の増に繋がっていない状況があり引き続き魅力ある島内雇用の創出に取り組む必要がある。